

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

| | |
|---------|---------------------|
| 上位の施策名称 | 施策I-1-1 企業の競争力強化 |
|---------|---------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|-------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 産業振興課長 松浦士登 | 電話番号 | 0852-22-6740 |
|----------|-------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---|-----------------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 特殊鋼産業クラスター高度化推進事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 安来市・松江市を中心に集積する特殊鋼関連産業 | |
| | (2) 意図 | 高度な技術力の習得や販路開拓による成長分野（航空機産業等）への参入 | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・安来市の特殊鋼を中心とした鉄鋼業は、本県のものづくり産業において、とりわけ付加価値額ベースで大きなウェイトを占め、代表的な産業集積地を形成。 ・平成23年度、「島根特殊鋼関連産業振興協議会」を設置し、特殊鋼関連産業のクラスター強化を図るため、航空機・エネルギー産業を中心とした成長分野への参入や産業人材育成・確保に向けて参画企業や関係団体と連携した取り組みを実施。 ・成長分野への進出に必要な素材開発、製品開発、試作開発等を支援する「特殊鋼産業成長分野進出促進助成金」、航空機分野への参入に必要な助言を行うアドバイザーの設置や展示会への出展、県内高等教育機関と連携した特殊鋼に関する人材育成・確保対策など産学官が連携し、総合的な支援を実施。 | | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|--|-------|------|------|------|------|------|----|
| 1 | 指標名 成長分野への参入を目指した新たな取り組みへの助成件数 | 目標値 | | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 件 |
| | | 取組目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 特殊鋼産業成長分野進出促進助成金及び発展型試作開発助成金(特殊鋼関連のみ)の採択件数 | 実績値 | 6.0 | 2.0 | | | | |
| | | 達成率 | - | 40.0 | - | - | - | % |
| 2 | 指標名 | 目標値 | | | | | | |
| | | 取組目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 | 実績値 | | | | | | |
| | | 達成率 | - | - | - | - | - | % |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|------------|--------|--------|
| 事業費(b)(千円) | 19,773 | 50,600 |
| うち一般財源(千円) | 19,773 | 50,600 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○同協議会「航空機ワーキング」での活動を契機とし、航空機産業を目指す中小企業グループ「SUSANOO」が発足。航空産業展への出展やマーケティング活動等に取り組んでいる。

○特殊鋼関連産業振興協議会における実績 ※括弧書きの数値は「航空機・エネルギー分」
 【売上高(億円)】 H23.3:1,247(98) → H29.3:1,203(111)、【雇用者数(人)】 H23.3:3,803(214) → H29.3:3,818(379)
 ※うち中小企業分 50(3) → 71(9) ※うち中小企業分 722(74) → 871(78)

○航空機特有の国際認証(JISQ9100)取得社数 H23.4 1社 → H29.4 5社

6. 成果があったこと(改善されたこと)

○関係者とともに特殊鋼協議会の第I期計画の総括を行うとともに今後5年間の第II期計画を策定

○特殊鋼産業成長分野進出促進助成金(H24年度～)の活用により、H28年度末までに19件の研究開発事業を実施、うち4件が事業化。

○H27.4に正式に発足した中小企業グループ「SUSANOO」については、工場訪問や展示会出展等で関係構築を図ったメーカーを中心に、少しずつ受注実績を積み重ねている。

○H26より非破壊検査技術講座を開始し、H28年度は2名の資格取得に繋がった。

○松江高専では「特殊鋼」をテーマとする特別授業等が定番化。特殊鋼産業・企業の認知度向上や、企業側の雇用拡大が期待される。

○人材確保に難航している現状を受け、H28.12に特殊鋼関連産業振興協議会に人材ワーキンググループを設置し、中長期的な視点での人材育成・確保に向けた検討を開始。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 航空機産業は、今後世界的な成長が見込まれる市場であり、一旦参入するとライフサイクルの長い産業の性格上、長期間に及び受注が見込まれる一方で、未経験の企業の参入は容易ではない現実がある。「SUSANOO」の取組みとしては、メーカー等からのニーズが高い一貫生産体制の構築に至っておらず、また、見積もり依頼があっても、価格や業務量の点で受注を逃すことが少なからず生じている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- (技術・品質保証) 最も安全性を求められる業界であり、国際認証に加え、各メーカーの個別の認証をとる必要があるなど高い技術力・品質力が求められること。
 (経営) 長期的には利益が見込めるが、参入から10年程度は赤字を覚悟する必要があるため、別事業で赤字を賄う体力(資金力)が求められること。
 (競争力) 「SUSANOO」内に特殊工程(熱処理、表面処理、非破壊検査等)に十分対応できる企業が少なく、また、先進的な他のクラスターと比べると、加工技術の中心となる企業が育っていないこと。
 (人員) 全体的な労働力不足の中、航空機事業に割ける人員が確保できていないこと。
- ③原因を解消するための「課題」
- (技術・品質保証)
 ・「SUSANOO」各社の国際認証(JISQ9100、Nadcap)の取得など、関係企業の技術力向上
 (経営・競争力)
 ・参入時の赤字を賄う安定的な収益源の確保やコスト削減方法の検討
 ・一貫生産体制の構築に必要な特殊工程等への対応策の構築、加工技術の中核企業の育成
 (人員)
 ・新規採用、中途採用両面での人材確保策の構築

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- (技術・品質保証)
 ・JISQ9100のH28改訂への対応や、非破壊検査資格取得を目的とした研修会等を開催し、各社の技術力・品質保証体制の向上を支援する。
- (経営・競争力)
 ・「SUSANOO」内の一貫生産体制の構築に向けた方策を検討するとともに、必要に応じ、他のクラスター・企業等との連携を模索。
 ・参入リスクを低減させるため、既存の国・県等の支援事業の活用を図るとともに、企業ニーズに即した支援を行えるよう、必要に応じ既存の補助事業等の見直しを行う。
- (航空機産業に精通した専門家の指導のもと、情報発信・集約機能を高めるとともに展示会や商談会等の案件開拓機会を拡大する。)
- (人員)
 ・将来にわたる円滑な新規採用社員の確保に向け、高校・高専・大学との連携事業を構築・拡充する。
 ・人材ワーキンググループでの活動やふるさとしまね定住財団・雇用政策課等との連携により、中途採用での人材確保方法を検討する。